

海老名災ボラ情報 No.4 10月中旬以降の予定、前月の報告

2020年10月11日発信、文責：海老名災ボランティアネットワーク代表・福田博

【1】10月中旬以降の予定

(1) 10月31日(土)「風水害から身を守るための講習会」を実施します。

1) 10月10日(土)の講習会は台風14号接近のため、中止しました。〔下記は中止連絡の全文〕

10月9日(金)14時発信、海老名災害ボランティアネットワーク代表 福田博

副代表：星野隆一郎(海老名市自治会連合会防災部会)

●10月10日(土)に予定した「風水害から命を守る」講習会の「午前の部」、「午後の部」共に中止します。

●気象情報：台風14号、西日本や東日本の太平洋側、雨が降り続き大雨の恐れ

「台風の北上に伴って10日にかけて、風が非常に強く、雨が長く続いて大雨となるおそれがあり、暴風や高波、大雨に警戒が必要です。」(「NHK ニュース防災」より)

●「防災気象情報」と「海老名市からの情報」に注意し、必要な風水害対策を実践してください。保存版「海老名市防災ガイドブック」(令和2年3月発行、海老名市)が、全世界帯に配布されています。(10月10日の風水害対策の資料として持参することになっていたもの)

この「海老名市防災ガイドブック」の中に、風水害・その他の災害、マイタイムライン、災害の備え、ハザードマップがあります。これらを読んで「風水害に対する備え」を実践してください。

①10月9日(金)までの参加予定者は、自治会関係者17名(星野さんを除く)、海老名災ボラ会員(8名)+3名：講習会関係者(講師：中村敏一、司会：星野、受付：福田)でした。

②台風14号は伊豆諸島方面を通過し、神奈川県を直撃することはありませんでした。避難行動が遅れた場合のリスクを考慮して10月9日(金)14時に中止の連絡をしました。

2) 10月31日(土)に、再度、実施します。詳細は10月10日と同様です。

①福祉会館：第4会議室(定員18名)：10月31日(土)午前と午後を予約しました。

【午前の部】9時30分受付開始～10時～11時30分講習、11時30分～消毒・清掃

【午後の部】13時～受付開始～13時30分～15時講習、15時～消毒・清掃

②参加者の募集：コロナ関係及び会議室の制約上、参加者を午前の部及び午後の部、それぞれ18名以内とします。自治会関係者は星野副代表から海老名市担当部署へ、海老名災ボラ会員は福田まで事前連絡をお願いします。申し込み順で受け付け、募集人員に達した時点で打ち切りとします。

【参加者への注意事項】

①マスクの着用、手指の消毒(会館入口と会場入口に消毒液が置いてありますので、これを利用)

②受付での参加者名簿への記載、氏名、住所、連絡先、「体温」(自宅で検温してきてください)

③当日、熱があるなど体調に異変がある方は関係者に連絡し参加を中止してください。

④会場では3蜜回避の対策(換気、座席間隔、近接・大声会話の回避)を実施。

⑤当日に持参する資料：「保存版・海老名市防災ガイドブック」令和2年3月発行、海老名市

★近日中に募集案内を発信しますのでメーリングリストや災ボラlineに注意してください。

3) 11月14日(土)：風水害対策講習会：午前と午後に第3会議室(定員22名)を予約しました。詳細は10月31日と同様です。11月に入ったら、案内を送信します。

11月14日(土)は第2土曜日ですが、風水害対策の講習会があるので定例会はありません。

4) 11月下旬、「海老名災ボラネットワークだより」自治会回覧用の作成・印刷・配布

【2】会計からの報告(松井会計) 2020年9月末までの報告

1) 一般会計 2020年9月末日現在 376,292円(+32,588円、8月末比)

9月末までの会費：個人会員31名、賛助会員13名、団体会員3団体、登録者全員の納入を確認しました。

2) 特別会計 23,540円(±0円、8月末比)

3) 2020年9月末日現在の会員数について(福田)

①個人会員：9月末までに2名(橋本真知子さん、杉山五月さん)が退会し(30-2)となり、賛助会員から3名(長田進治さん、内野優さん、萩原圭一さん)を個人会員に移動し(28+3)、計31名となりました。【注】

②賛助会員：9月末までに3名(河野誠一さん、森真一さん、足永真一さん)が退会し(19-3)、これまで賛助会員に記載されていた上記3名を個人会員に移動して、計13名。

③団体会員は3団体で変化なし。

【注】海老名災ボラの現在の規約で、個人会員(2千円以上)と賛助会員(千円以上)は、年会費の金額が違うだけです。ボランティアは「自主性」「自発性」を尊重する組織ですから、災ボラの活動(総会、定例会、事業)に会員であれば誰でも参加できます。

〔過去の経過〕私(福田)は平成23年(2011年)3月に海老名災ボラに入会したので、それ以前のことについては分かりません。設立当初からの会員(現在は退会)に聴きましたが不明なことが多く、平成23年(2001年)設立以降の入会申込書を調べました。

①平成13年(2001年)12月に海老名災ボラは設立されました。その当時の入会申込書には、個人会員と法人・団体会員の区別がなく、個人会員1口(千円)以上、法人・団体会員(3口)以上となっていました。

②平成17年(2005年)4月～平成22年(2010年)秋頃まで用いられていた入会申込書の会員区分欄に、個人会員：「積極的に会合等に参加できる方」、賛助会員：「会合等には出席できない方」、下に「個人会員、賛助会員の変更はいつでもできます」と記載されていました。平成23年(2011年)初め以降は、入会申込書の様式が変更され、この記載は消えています。この時期の個人会員と賛助会員に関する考え方が残存していると思われます。

〔現在の状況〕個人会員で災ボラの「会合等に」、ほとんど参加しない(できない)方もあります。賛助会員で災ボラの「会合等に」参加する方は、ほとんどいない状況です。

【3】活動報告：9月上旬～10月11日までの活動報告

(1) 海老名災ボラの(内部)活動の報告

1) 海老名災ボラ2020年度第1回定例会の開催：9月19日(土)9時30分～11時30分
海老名市総合福祉会館、第2会議室(2階)、感染防止対策を実施した上で開催した。

出席者：13名+lineでの参加1名

2) 海老名災ボラ情報 No.3の発行：9月21日発行、内容は2020年度第1回定例会の報告（災ボラのメーリングリストで配信したが、郵送はしていない）、内容はNo.3を見て欲しい。

3) 災ボラ会費の未納者に対する督促（9月中・下旬、実施・完了）

実施担当者：督促状の発送（松井会計）、督促電話（福田代表、水本副代表）

4) 海老名災ボラ line グループ作成と会員（個人、賛助、団体）に対する招待作業を継続中。

担当（福田代表）、9月中旬以降～実施しているが、10月10日現在の参加者は17名。

原因1：海老名災ボラ line グループに参加する必要性を感じない会員も少なくないこと。

原因2：海老名災ボラ line グループ作成という情報が伝わっていない会員も少なくないこと。

災ボラのメーリングリストで配信したが、「メーリングリストに登録していない会員」もあり、また、登録していても「ほとんど読まない」会員もいること⇒対策1 参加の案内を郵送する。

原因3：lineに「慣れていない」会員も少なからず存在し、参加のために丁寧な案内が必要である。

具体的には、line アプリをインストールしていない方に line アプリのインストールを要請する。line アプリを既にインストールしている方で福田 line の「友だち」欄に表示された会員には line で「招待」を送っている。line の「友だち自動追加」をオフにしている人には「招待」は届かない。オンにしても、その人の line 友だち欄に福田が表示されていない場合、「招待」は届かない。⇒対策：その人の line の友だち欄に福田が表示される方法を電話やメールで連絡している。

参加者が増えなければ、line グループの「効果」は上がらない。参加者を増やそうと努力すれば、さらに事務的技術的作業の時間を必要とする。

5) 退会者のメーリングリストからの登録削除：9月までに退会した会員でメーリングリストに登録していた方（杉山五月さん、橋本真知子さん）の登録削除を野中義彦さんが実施しました。

6) 海老名災ボラのホームページの更新の件

海老名災ボラのホームページは橋本前代表が更新しておりましたが、2018年5月に舘登志子さんがリニューアルしてくれました。8月には舘さんが入会案内を更新、11月24日に活動内容を追加してくれました。その後、舘さんや鷺見一雄さんの諸事情で更新が進んでおりません。ホームページを更新できる会員が少ないことが根本的な原因だと思います。現状を改善するための会議（Zoom など）を、広報班や関心のある会員の協力も得て開催し、解決策を見出したいと思います。

（2）社協関係の活動報告：9月の3者定例会は開催されておられません。10月は未定です。

（3）神奈川災ボラ（KSVN）関係の活動報告

①神奈川災ボラの各種委員会へ海老名災ボラの会員の推薦の件

避難者支援委員会（東日本大震災の避難者支援など）に「嶋原義弘」さんを推薦し、神奈川災ボラの了解を得ました。

②福田は理事と運営委員になっており、組織強化委員会に所属することになりました。

以上